

県道岡山牛窓線(2工区)芳岡川橋梁地質調査業務委託(8-1)

業務仕様書

1. 業務目的

本業務は、県道岡山牛窓線(2工区)において、芳岡川橋梁の設計・施工に対し、現状で不足している地盤情報(支持層深度及び液状化特性)を追加収集・整理する目的で、機械ボーリング等を実施するものである。

2. 業務内容

2.1 計画準備

本業務の目的・主旨を把握し、業務内容を確認したうえで、業務内容・業務フロー・実施方法・業務工程等を検討し、業務計画書を作成する。また、現地立入に必要な地元挨拶及び、必要に応じて関係機関調整を行う。

2.2 既往資料の収集・現地調査

過年度に実施されている各種調査・設計等業務成果等の既往資料を収集整理する。また、事前に現地を確認し、現地作業上の問題点等を確認する。

2.3 ボーリング調査

<調査位置>

調査地点は右岸側橋台部とし、橋台範囲のうち、相対的に支持層が深いと考えられる下流側で実施する。完成形に対する実施を想定しているが、暫定形に対する調査とする場合の調査位置は、監督職員と協議の上、決定する。

<調査内容>

- ・オールコアボーリングとする。
- ・掘り止め基準は「支持層(Dg2層を想定)を3m確認」とするが、最終的な掘進深度は監督職員に立会検尺による確認を受けるものとする。
- ・標準貫入試験は支持層判断を主な目的として1mピッチで実施する。

<搬入・仮設等>

- ・クレーン付きトラックによる直接仮設とする。
- ・足場は平坦地足場とする。
- ・掘削水は近傍の芳岡川から取水する計画としている。
- ・調査後、調査孔は土砂による閉塞を行う。

現地状況等により上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

2.4 資料整理取りまとめ

今回ボーリング調査結果について、柱状図作成等の各種資料整理を行う。

2.5 断面図等の作成

過年度に作成した推定地質断面図について、今回ボーリング結果を反映し地層線や支持層ラインを修正する。

2.6 総合解析とりまとめ

過年度に作成した地盤定数について、今回ボーリング調査結果を加味して修正の上、支持層や基礎形式、設計・施工上の留意点等について考察する。

2.7 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時、中間打合せ、成果品納入時の3回を予定している。

2.8 国土地盤情報データベース検定

本業務で作成したボーリング柱状図は、別途第三者機関による検定を受け、地盤情報データベースに登録する。

3. 成果

土質標本箱1式、報告書1部、電子媒体1部